



広
報

HAKUBA

白馬村誕生60周年記念特別号



白馬村誕生

六十周年に寄せて



白馬村長
しもかわ まさたけ
下川 正剛

白馬村は、昭和三十一年九月三十日に神城村・北城村が合併してから、六十周年という大きな節目を迎えることができました。

今日ある白馬村は、ふるさとを後にされながら白馬村へ深い愛郷の念をお寄せいただいている多くの白馬村出身の方々、そして、この礎を築いていただいた偉大な先人の先を見る力と諸先輩方の賜物です。今後の村づくりは、歴史を重んじながら新しい時代に即し、村民及び白馬ファンの皆さまともども、力を合せて未来を切り拓いていかなければならないと、あらためて決意するところであります。

村制施行五十周年以降の、この十年間を振り返りますと、保育施設の老朽化に伴う保育園の統合により一園化し、しろうま保育園を開園。昭和六十一年以来の開催となる、第五十一回全国高等学校スキー競技会の開催。情報化社会への対応として、光ファイバーケーブルを村内全域に整備した、ケーブルテ

レビ白馬の開局などが挙げられます。

そして、皆様も忘れることができない平成二十六年十一月二十二日に発生した長野県神城断層地震がありました。地震発生当時の混乱した状況は、今でも日本の各地で発生している地震災害の映像を見ると思い起こすとともに胸が詰まります。

これまでの間、様々な課題はありましたが、復旧復興の取り組みを進めてきた中で、白馬村は「地域の絆」による防災・減災のモデルとなり、震災以降において全国各地から視察に訪れていただいております。村民が一体となつて乗り切った震災対応には一定評価がいただけたものと考えております。

また、復興の道半ばではありますが、国や長野県、そして全国、世界中の方々や企業、団体などの皆様から、見舞金や義援金、救済物資の提供、人員の派遣など、温かいご支援をいただくとともに、村内外のボランティアの皆様から大きなお力添えをいただきましたこと、改めて心から厚く御礼申し上げます。

本年は、白馬村第五次総合計画の初年にあたります。基本理念を「白馬の豊かさとは何か」～多様であることから交流し学びあい成長する村～としました。

これは、白馬村には、世界中の人を惹きつける自然環境があり、多様な価値を持つていて、その土地の暮らしに根付いた多様な歴史や文化も各地区に残っています。そして、移住者や来訪者も含めた白馬を愛する多様な立場の人たちがいます。社会変化の影響を受けやすく、これまでも多くの変化に対応してきた白馬村だからこそ、村内外からの「多様性」から「学びあう」ことを意識し、様々な分野で「白馬の豊かさ」を発見しながら成長していく必要があります。

これからの十年間、白馬に集うみなさんが「白馬の豊かさとは何か」を問いつづけることによって、激しい社会変化にもお互いに知恵を出し合い、手を携えながら乗り越える、そして、一人ひとりが「豊かさ」を感じながら成長することができる白馬村を推進して参る所存であります。

皆様の更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。



白馬村村制施行六十周年 村政功勞被表彰者



種別	被表彰者	功績事項
自治功勞	福島 信行氏	村長(H6.8.7~H18.8.6)として村政発展に貢献
	太田 紘熙氏	村長(H18.8.7~H26.8.6)として村政発展に貢献
	松沢 宗昭氏	助役(H10.11.1~H18.8.6)として村政発展に貢献
	窪田 徳右衛門氏	助役(H18.9.1~H19.3.31)、副村長(H19.4.1~H26.8.6)として村政発展に貢献
	内川 雅夫氏	収入役(H14.11.1~H18.8.6)として村政発展に貢献
	吉沢 武志氏	教育長(H14.11.1~H20.3.31)として村政発展に貢献
	福島 總一郎氏	教育長(H20.4.1~H25.3.31)として村政発展に貢献
	松澤 徹男氏	議会議長(H15.5.8~H17.5.4)として村政発展に貢献
	下川 辰男氏	議会議長(H17.5.9~H19.5.8)として村政発展に貢献
	西澤 功氏	議会議長(H19.5.8~H21.5.4)として村政発展に貢献
産業功勞	小林 勉氏	代表監査委員(H19.7.3~H27.7.2)として村政発展に貢献
	白馬村 林業経営者協会	永年にわたり林業技術の習得と普及に努め、森林整備を率先して行い、林業振興に貢献
	白馬猟友会	永年にわたり有害鳥獣駆除に尽力し、農林業被害の防止や住民の安全確保に貢献
	白馬地場産推進会	永年にわたり農産物の学校給食への供給や直売所での販売を行い、農産物の地産地消に貢献
	株式会社 白馬フォーティセブン	永年にわたり索道事業を通じて観光産業の充実とスキー選手育成に貢献
	田中 欣一氏	昭和53年から永年にわたり塩の道祭りの企画運営に携わり文化及び観光の振興に貢献
	柏原 穰氏	農業委員会長(H17.7.20~H23.7.19)として適正な農地保全及び荒廃農地対策に貢献
	丸山 敏夫氏	商工会長(H10.11~H21.5)として地域の発展と商工観光の振興に貢献
	西沢 信男氏	商工会長(H21.5~H24.5)として地域の発展と商工観光の振興に貢献
	菅沢 奎子氏	教育相談員(H7~H20年度)として保護者の相談体制の充実を図り教育活動に貢献
教育功勞	太田 昭雄氏	教育委員長(H17.4.1~H25.3.31)として地方教育行政の重責を担い教育振興に貢献
	太田 敏彦氏	公民館長(H18.1.1~H23.3.31)として公民館活動の推進に情熱をもって当たり生涯学習と社会教育振興に貢献
体育功勞	白馬村 マレットゴルフ協会	永年にわたりマレットゴルフの発展に尽力し60歳以上の村民のスポーツ振興に貢献
	山岸 慶一郎氏	体育協会長(H13.4~H19.3)としてスポーツ普及と振興に尽力し、村民の体力向上と活力ある社会の構築に貢献
社会事業功勞	原田 忠昭氏	体育協会長(H19.4~H27.3)としてスポーツ普及と振興に尽力し、村民の体力向上と活力ある社会の構築に貢献
	矢口 公勝氏	白馬村スキークラブ会長(H14~H17)、長野県スキー連盟会長(H24~H26)としてスキーの普及発展とスキー大会運営に貢献
交通功勞	柏原 武幸氏	民生児童委員協議会長(H19.12.1~H25.11.30)として社会奉仕の精神をもって地域福祉の発展と向上に貢献
	相澤 功氏	交通安全協会長(H10.7~H19.5)として街頭指導や啓発を通じて交通事故防止に貢献
消防功勞	松澤 一氏	副団長(H14.4.2~H18.4.1)、団長(H18.4.2~H20.4.1)として消防団の資質向上と予防消防に貢献
	横山 武久氏	副団長(H16.4.2~H20.4.1)、団長(H20.4.2~H22.4.1)として消防団の資質向上と予防消防に貢献
	太田 誠氏	副団長(H20.4.2~H22.4.1)、団長(H22.4.2~H24.4.1)として消防団の資質向上と予防消防に貢献
	丸山 和之氏	副団長(H22.4.2~H24.4.1)、団長(H24.4.2~H26.4.1)として消防団の資質向上と予防消防に貢献
消防功勞	丸山 和之氏	副団長(H22.4.2~H24.4.1)、団長(H24.4.2~H26.4.1)として消防団の資質向上と予防消防に貢献
	横山 義彦氏	副団長(H24.4.2~H26.4.1)、団長(H26.4.2~H28.4.1)として消防団の資質向上と予防消防に貢献

種別	被表彰者	功績事項
徳行功勞	内川 賀介氏	永年にわたり登下校時の児童生徒への見守りや声かけ活動に取り組み児童の健全育成に貢献
	白馬村消費者の会	永年にわたり古紙回収や道路清掃に取り組み、環境美化・リサイクル推進に貢献
環境功勞	木流川と親しむ会	永年にわたり木流川周辺の維持保全活動や観察会を開催し、多様で豊かな自然環境の保全と児童の環境教育に貢献
	平川を愛する会	永年にわたり平川周辺の美化整備活動や「水と親しむイベント」を開催し、次世代に誇れる平川の創造に貢献
	ごみ減量チーム 白馬あーす隊	永年にわたりリサイクル物の収集活動やごみ減量に関する啓発活動に取り組み、ごみ減量化対策に貢献
保健衛生功勞	昭和大学白馬診療部	永年にわたり白馬岳に夏山診療所を開設し登山者の診療サポートや登山ルートのハトロール活動を実施
	横沢 伸氏	昭和60年より横沢医院にて医師として地域医療に携わり、本村の保健衛生に貢献
	横沢 日出子氏	昭和59年より横沢医院にて医師として地域医療に携わり、本村の保健衛生に貢献
	医療法人 白馬林富会 しんたにクリニック	平成10年度より冬期間のスキー傷害診療を受託し、地域の救急医療体制の確立に貢献
男女共同参画 社会づくり功勞	男女共同参画社会づくり事業推進協議会長(H19~23年度)として男女共同参画社会に向けた気運の醸成に貢献	
	眞島 宣子氏	
震災復興功勞	白馬村消防団	救助活動、夜間警戒活動に尽力
	社会福祉法人 白馬村社会福祉協議会	避難所運営、ボランティアセンター運営に尽力
	白馬村赤十字奉仕団	避難所での炊き出しに尽力
	公益社団法人 長野県公共嘱託登記士地家屋調査士協会	不動産の表示に関する登記の申請手続等を無償で実施
	大北農業協同組合	物資手配、ロッカー無償貸与、農機具の無償保管
	白馬建設業組合	震災直後の応急復旧等に尽力
	白馬建築業組合	震災直後の応急復旧等に尽力
	白馬村上下水道 指定工事店組合	震災直後の応急復旧等に尽力
	堀之内区	住民の避難誘導・避難所運営に尽力
	三日市場区	住民の避難誘導・避難所運営に尽力
震災復興功勞	大出区	住民の避難誘導・避難所運営に尽力
	嶺方区	住民の避難誘導・避難所運営に尽力
	蕨平区	住民の避難誘導・避難所運営に尽力
	青鬼区	住民の避難誘導・避難所運営に尽力
	野平区	住民の避難誘導・避難所運営に尽力
	八方尾根開発 株式会社	被災者に対して入浴施設を無償開放
	株式会社 十郎の湯	被災者に対して入浴施設を無償開放
	ホテル シェラリゾート白馬	被災者に対して入浴施設を無償開放
	株式会社 白馬東急ホテル	被災者に対して入浴施設を無償開放
	株式会社 白馬樫の木ホテル	被災者に対して入浴施設を無償開放
震災復興功勞	白馬八方温泉 ホテル五龍館	被災者に対して入浴施設を無償開放
	飯森区	応急仮設住宅用地を無償貸与
田中 庄左門氏	飯森体育館を無償貸与	

年表で振り返る 白馬村六十年の軌跡



1956 (昭和31年)

9月30日 神城村と北城村が合併し白馬村が誕生
本庁舎を旧北城村役場、神城村役場を支所とする。①
11月 初代白馬村長に太田新助氏が当選

1957 (昭和32年)

7月 231㎢集中豪雨で谷地川・木流川が氾濫
70町歩が冠水し、被害額1億1千万円
8月 大系線全線開通②

1958 (昭和33年)

5月 飯森に11町歩の開田完成
12月 八方尾根に白馬ケーブル架設

1959 (昭和34年)

4月 白馬中学校新築・開校
7月 信濃四ツ谷駅まで電化完成

9月 台風15号により松川堤防決壊。北城小学校他家屋流出浸水
114戸。災害救助法適用(被害額2億9千万円)③

1960 (昭和35年)

7月 森上駅まで電化が進み、飯森駅営業開始
▼佐野民宿で都会学生の合宿(学生村)受入開始

1961 (昭和36年)

10月 森上―新宿間に定期準急列車運行開始
12月 全村有線放送電話設置④

1962 (昭和37年)

4月 平川・松川直轄砂防工事に着手

1963 (昭和38年)

1月 昭和31年4月の着工以来7カ年を要した平川源太郎の第二
砂防堰堤完成

4月 白馬高校が県立校へ移管

8月 白馬小唄できる。

10月 都市計画事業始まる。ヘリコプターによる夏山物資輸送、
別荘分譲地造成始まる。

1964 (昭和39年)

3月 野平、嶺方分校廃止
4月 神城・北城小学校名を廃しそれぞれ白馬南・白馬北小学校
に改称

8月 皇太子殿下同妃殿下ご来臨、八方尾根登山⑤
12月 国民宿舎八方池山荘完成

1965 (昭和40年)

4月 白馬村議会議員選挙が定員18名となり行われる。
7月 松川氾濫、大出21戸床上浸水



1966-1975

2

1

3

5

4

- 1966 (昭和41年)
 - 8月▶深空野別荘団地開村式
 - 10月▶村長選挙、松沢安蔵氏当選
 - ▼村内の国道148号線全線舗装化
- 1967 (昭和42年)
 - 4月▶信濃四ツ谷駅前広場都市計画工事成済①
 - 5月▶11日～6月25日まで雨降らず、ポンプ30台ホース1万mを購
入し揚水するが、作付けできない田がある。
 - 9月▶白馬村章決定
- 1968 (昭和43年)
 - 2月▶第23回国体スキー競技会八方尾根で開催され、高松宮殿下
ご来臨
 - ▼70m級白馬ジャンプ工完成②
 - 10月▶信濃四ツ谷駅を白馬駅に改名
 - 12月▶白馬駅新築落成
- 1969 (昭和44年)
 - 8月▶集中豪雨襲来、被害額2億6300万円
- 1970 (昭和45年)
 - 9月▶広報はくば第1号発行
 - 11月▶林道三路線(岩岳・野平・東山)3600m完成
 - ▼白馬南小学校に10m級ジャンプ台完成
 - 12月▶白馬電報電話局新設、電話自動化になる。
- 1971 (昭和46年)
 - 3月▶南部保育所完成
 - 6月▶白馬南小にプール完成
- 1972 (昭和47年)
 - 3月▶白馬―新宿間特急列車運行開始③
 - 10月▶野平地区菅沢橋完成
- 1973 (昭和48年)
 - 2月▶第10回全国中学生スキー大会、岩岳で開催④
 - 9月▶広域基幹林道(白馬～小谷東山線)着工
- 1974 (昭和49年)
 - 8月▶神城地区県営團場整備事業着工⑤
 - 9月▶村長選挙、横沢裕氏当選
- 1975 (昭和50年)
 - 3月▶中部・北部保育所完成
 - 11月▶白馬小谷衛生センター完成



1976 (昭和51年)

- 3月 白馬村総合計画策定
- 8月 高校総体登山競技会開催

1977 (昭和52年)

- 11月 八方に40m級シニアシヤンツェ完成

1978 (昭和53年)

- 2月 第23回国民体育大会冬季大会スノー競技会開催
- 4月 第57回全日本アルペンスキー競技会開催
- 6月 水神宮橋流失①
- 8月 白馬いこいの杜(保養センター・グリーンスポーツ)建設着手。

1979 (昭和54年)

- 3月 上水道第1次拡張工事完了
- 9月 役場新庁舎2年計画で完成
- 11月 松川橋完成
- 白馬村民憲章制定

1980 (昭和55年)

- 4月 防災行政無線完成、有線放送閉局②
- 10月 低温長雨の異常気象により凶作、被害額5億円余
- 11月 平川橋完成
- 12月 農業者トレーニングセンター完成
- 29日 雪崩源太郎水源を襲う

1981 (昭和56年)

- 1月 未曾有の豪雪で家屋の破損相次ぐ③
- 8月 白馬村多目的研修集会所施設完成
- 12月 農産物処理加工施設・多目的集会所施設完成

1982 (昭和57年)

- 4月 突風により村内65戸が破損、被害総額は3億5千万円
- 7月 12日 静岡県河津町と姉妹都市提携④
- 22日 8月24日マンガ集団50周年記念行事としてマンガ王国イベントが開催⑤
- 9月 上水道第2次拡張事業二股浄水場完成
- 白馬岳頂上宿舎完成

1983 (昭和58年)

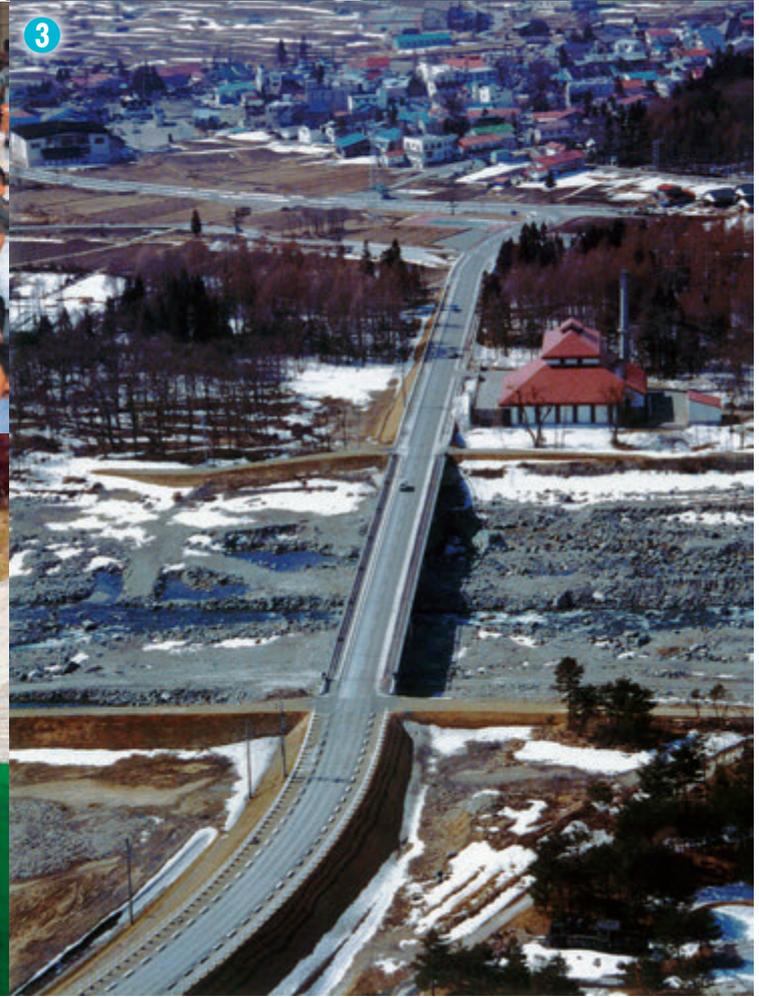
- 4月 B&G白馬海洋センター完成
- 6月 県営かんがい排水事業平川地区竣工

1984 (昭和59年)

- 3月 財団法人白馬村振興公社設立
- 7月 農業者トレーニングセンター完成
- 集中豪雨が白馬東部を襲い、被害額は6億6千万円余

1985 (昭和60年)

- 10月 31日 和歌山県太地町と姉妹都市提携⑥
- 3月 姫川源流「名水百選」に選ばれる。
- 6月 県営ほ場整備事業神城地区竣工
- 6~7月 梅雨による被害続出、被害額13億4千万円



1986 (昭和61年)

- 2月 第35回全国高校スキー大会開催
- 10月 白馬大橋完成①
- 11月 飯森地区県営ほ場整備事業着手

1987 (昭和62年)

- 2月 第42回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催②
- 4月 白馬村南部農業者トレーニングセンター完成
- 8月 JIFAS (冒険とスポーツの国際映画・映像) 白馬村初開催
- 10月 村道0105号線竣工、「日本の道百選」に選出③
- 11月 冬季オリンピック招致推進村民大会開催
- 12月 国道148号線森上ハイパス完成

1988 (昭和63年)

- 3月 屋外広告物の規制開始 (村内5路線が対象)
- 6月 1998年冬季オリンピック国内候補地「長野」に決定
- 8月 浩宮さま百名山登山で五竜岳にご来臨

1989 (平成元年)

- 6月 白馬村農業者体験実習館完成
- 10月 ふれあいの杜完成
- 11月 景観形成基本計画策定事業に着手
- 12月 白馬村多目的スポーツセンター完成

1990 (平成2年)

- 2月 世界プロスキー選手権大会 (日本初)開催
- 7月 白馬ジャンプ競技場工事に着手
- 8月 農業集落排水事業に着手
- 海外通話が可能な公衆電話を村内6箇所に設置
- 9月 村長選挙、西沢泰氏無投票初当選
- 10月 公共下水道事業 (大出終末処理場及び管渠工事)着手

1991 (平成3年)

- 6月 1998年冬季オリンピック開催地「長野」に決定④
- 9月 台風19号、家屋の損壊等村内に被害もたらす。
- 12月 オリンピック推進委員会設立

1992 (平成4年)

- 6月 株式会社夢白馬 (第3セクター) 設立
- 12月 白馬ジャンプ競技場完成⑤

1993 (平成5年)

- 2月 オリンピック子どもフォーラム開催
- 8月 大出区・白馬町区・八方口区の二部において公共下水道が供用開始
- 10月 白馬ジャンプ競技場オールシーズン化工事完了
- 11月 白馬村保健福祉ふれあいセンター完成

1994 (平成6年)

- 2月 エーランド地区が村内初となる景観形成住民協定地に認定

1995 (平成7年)

- 7月 県北部豪雨、24時間の降水量291mmを観測し村内多数の被害



1



2



3



4



5



6

1996 (平成8年)

- 4月 特別養護老人ホーム「白嶺」、白馬村在宅介護支援センター、ティサービスセンターが完成
- 8月 道の駅白馬完成
- 11月 オリンピック関連道路白馬ルート開通
- 12月 白馬中学校全面改築工事を完了
- 姫川源流と親海湿原他9か所が関川姫川水百選に認定

1997 (平成9年)

- 1月 オリンピック・パラリンピック前大会として、各種ワールドカップスキー大会・国際障害者クロスカントリースキー競技会が開催される。(3月まで)
- 11月 災害後の復旧により大系線全線開通
- 12月 青木湖ハイパス開通①

1998 (平成10年)

- 2月 7日、22日 第18回オリンピック冬季競技大会開催②
- 3月 5日、14日 第7回オリンピック冬季競技大会開催
- 4月 ウィンク21完成
- 上村愛子選手・丸山直也選手に白馬村スポーツ栄誉賞を授与③
- 7月 ノルウェーヒレッジにオリンピック記念館オープン

1999 (平成11年)

- 4月 訪問看護ステーションはくば開設
- 8月 青鬼地区棚田百選に認定

2000 (平成12年)

- 6月 中部保育所に子育て支援ルーム開設
- 白馬村レッドデータブック発行
- 12月 青鬼地区重要伝統的建造物群保存地区に選定④

2001 (平成13年)

- 4月 介護老人保健施設白馬メディア完成
- 7月 オーストリア レッヒ村と友好協定締結

2002 (平成14年)

- 1月 豪雪対策本部設置
- 白馬小径が遊歩百選に認定

2003 (平成15年)

- 3月 白馬のまちづくりマスタープラン策定
- 7月 白馬AIPS花三昧2003開催(8月まで)
- 10月 白馬小谷任意合併協議会設立⑤

2004 (平成16年)

- 4月 白馬村観光局発足
- 7月 アンケートの結果を受けて白馬小谷任意合併協議会解散

2005 (平成17年)

- 2月 2005年スペシャルリンクス(SO)冬季世界大会開催
- 3月 東京農業大学と地域振興に係る連携協定を締結
- 8月 11日 白馬大雪渓上部(杓子岳天狗薙)で土砂崩落⑥



2006 (平成18年)
1月 豪雪対策本部を設置「平成18年豪雪」災害救助法適用
4月 白馬村地域包括支援センター開設
22日 白馬大雪渓上部(秋道)で土砂崩落

2007 (平成19年)
4月 しろうま保育園開園①

2008 (平成20年)
6月 上村愛子選手に村民栄誉賞(第1号)を授与
(2007-2008W杯総合優勝)

2009 (平成21年)
2月 第58回全国高等学校スキー大会開催
(白馬高校男子総合9位、男子クロスカントリーリレー優勝)②

4月 乗合タクシー「白馬ふれ愛号」運行開始

2010 (平成22年)
2月 バンクーバーオリンピック・パラリンピックに白馬村から選手8名が出場(3月まで)

2011 (平成23年)
4月 ケーブルテレビ白馬が開局③

2012 (平成24年)
9月 白馬スキーの日(2月8日)制定

2013 (平成25年)
2月 白馬村キャラクター「ヴィクトワール・シユヴァルプラン・村 男三世」デビュー

10月 白馬村社協ティサイビスセンター「岳の湯」開所

2014 (平成26年)
2月 ソチオリンピック・パラリンピックに白馬村から選手6名が出場(3月まで)

4月 ソチオリンピック・パラリンピック凱旋パレード・報告会表彰式
祝賀会開催、渡部暁斗選手に村民栄誉賞(第2号)授与④
上村愛子選手にスポーツ特別功労賞(第1号)を授与(フリー
スタイルモーグル5大会連続入賞)

8月 下川正剛氏村長に就任

11月 長野県神城断層地震災害⑤

12月 応急仮設住宅完成、入居開始

2015 (平成27年)
4月 信州大学と防災、スポーツ振興、地域振興、教育及び人材育成等に係る全学連携協定を締結

7月 富山県朝日町と災害時応援協定を締結

9月 ヤフー株式会社と地域活性化に係る連携協定を締結
白馬高校公営塾「しろうま学舎」を開講

11月 神城断層地震一周年復興祈念行事舉行

2016 (平成28年)

4月 白馬高校に国際観光科を新設、全国から生徒を受入⑥

6月 秋篠宮殿下が応急仮設住宅を訪問

8月 SBDライブ株式会社と自動運転技術に関する連携協定締結

9月 白馬大雪渓ルート雪不足のため通行禁止

の今昔

役場庁舎



昭和54年 新築



白馬南小学校



昭和47年 改築



平成5年 増改築



白馬駅前

昭和30年代



昭和50年代



平成8年



白馬中学校



平成8年 全面改築



白馬北小学校



旧校舎



昭和46年 改築



平成元年 改築・平成16年 増築

保育園



北部保育園



中部保育園



南部保育園

統合

平成19年
しろつま保育園開園



スキー場の様子



昭和30年代



昭和60年代



現在

村宮頂上宿舎



旧宿舎



昭和57年 改築



現在

村民憲章

わたくしたちは、北アルプスの山なみにいだかれて生きる、白馬村民です。
白馬岳・姫川に象徴される豊かな自然風土は、わたくしたち白馬村民のいのちです。
わたくしたちは、村の歴史をとうとび、未来を語り、さらにすばらしい村にする願いをこめて、ここに村民憲章を制定します。

- 自然に学び風雪に耐えて 力強く生きましょう
- 先祖の遺産を受け継ぎ 地域に根ざした文化を築きましょう
- あたたかい心を育て 明日をつくる喜びをわかちましょう
- 美しい山河を守り 住みよい村をつくりましょう
- 白馬の土と人を愛し 来訪者をあたたかく迎えましょう

【村木】

コブシ



オオヤマザクラ



【村花】

カタクリ



— 震災の記録 —

白馬村では、一昨年発生した神城断層地震での震災の記録を1冊にまとめた震災記録誌と、村制施行60周年を記念して制作したDVDがそれぞれ完成し、このたび一般販売をすることとなりました。

震災記録誌は全120頁の構成、DVDは約32分の映像となっています。DVDについては冒頭に白馬村のこの10年を振り返る映像が収録されておりますが、内容の大部分が神城断層地震を振り返る内容となっております。発災直後の生々しい記録から、応急復旧への対応状況、被災者支援、また現在までの復興状況をまとめました。

震災記録誌、DVDともに各1,000円にて販売を致します。ご希望の方は役場総務課にてお求めください。



DVD



震災記録誌

発行日 平成28年10月3日

発行 白馬村役場